

华中师范大学

二〇〇八年研究生入学考试试题

招生专业：日本语言文学；研究方向：日本文学文化・日本語教育
考试科目及代码 837 翻译与写作 050205-01\02 考试时间 九月 20 日下午

一、次の文章を中国語に訳しなさい（満点六十点）

その一

「あなたの文章は、ヨコ書きになると、荒れてきますね」
人にそういわれたことがある。

「なるほど、そうかもしれない」と心の中で自分に言い聞かせた。とてもいい指摘だったと、今でも感謝している。

もともと私は、ヨコ書きが好きで書いていたわけではない。

「ヨコ書きの雑誌なので」

編集者にそういわれて書いた結果が、右の通りとなったのだ。

しかし振り返ってみると、学生ときは必ずヨコ書きでノートをとった。今でも学生は、みんなそうだろう。

その頃、私はこう思っていた。日本語の書き順は漢字でもひらがなでも、たいてい左上から始まって右下で終る。だからヨコ書きにするのはむしろ自然なのだ、と。

その上、二つの目玉もヨコに並んでいるではないか。

結局私のタテ書き感覚は、若いときに読んだたくさんの小説の文体に、どうやら原因があるようだ。そのとき私は自分にびったりする文体を探し出そうとしていたのだ。志賀直哉とか谷崎潤一郎などの異なった文体にぶつかり、漱石と鷗外というこれも異質な作品群にのめり込んだ。多くの青年がそうだったように。

それで結局、最後に選んだのが鷗外だった。それには多少の理由があって、中学の時代に漢文が好きだったこと、今でも座右に『唐詩選』をおいて、時々声を出して呼んでいる。鷗外の文体は漢文系だと思ふ。

もう一つの理由は簡単で、鷗外の作品にはそのまま原稿用紙に書き写しやすい短編が多かったせいで、最初に書き写したのは『高瀬舟』である。『阿部一族』の冒頭の一文などは、「うーむ」と思わず声を出したい

ほどの名文だと思いが、この小説は少し長くて書き写せなかった。

一ゴマーゴマ原稿用紙に書き写していくと、句読点の打ち方、行をかえる呼吸、地の文のと会話のバランス、それに全体の文章のリズムなどが、とても自然に融け込んでいく。

自分の心と身体に合った文体にめぐり合えば、やがてそれが血となり肉となってその人を形成していくものらしい。

こうしてヨコ書きを読むのには、慣れていても、書くときはタテ書きという人間が出来上がった

どうもこれには、英語をタテ書きにできないのに、日本語はヨコ書きにもできるという驚くべき特性が隠されていたようだ。

このことに気がつくまで、私はあんまりにも時間がかかりすぎた。本当はここから出発しなければならなかったのだろう。

その二

その年の二百十日はたしか涼しい月夜であった。つづいて二百二十日の厄日も亦それとは殆ど気もつかぬばかり、いつに変わらぬ残暑の西日に蝸の声のみあわただしく夜になった。夜になってからは流石厄日の申訳らしく降り出す雨の音を聞きつけたもの然し風は芭蕉も破らず紫苑をも鶏頭をも倒しはしなかった―わたしはその年の日記を繰り開いて見るまでもなく斯く明に記憶しているのは、その夜の雨から時候が打って変つてとても浴衣一枚ではいられぬ肌寒さにわたしはうろたえて襦袢を重ねたのみか、すこし夜も深けてかけた頃には袷羽織まで引掛けた事があるからである。彼岸前に羽織を着るのぞとはいかに多病な身にもついぞ覚えたことがないので、立つ秋の俄に肌寒く覚える夕といえれば何ともつかず其の頃のことを思い出すのである。

其の頃のことと云ったとて、いつも単調なわが身の上、別に変った話のあるわけではない。唯其の頃までわたしは数年の間さしては心にも留めず成りゆきの儘送ってきた孤独の境涯が、つまる処わたしの一生の結末であろう。これから先私の身にはさして面白いこともない代わりまたさして悲しいことも起こるまい。秋の日のどんよりと曇って風もなく雨にもならず暮れてゆくようにわたしの一生は終わっていくであろうというような事をいわれもなく感じたままの事である。

二、次の文をに日本語に訳しなさい (満点三十点)

①、有时期、同样一篇诗或同样一句诗，会有几种不同的理解。古诗不必说，连现代诗也不例外。(場合によっては)

- ②、先生们过奖了，我们只是做了理应做的事情，不周到的地方，还请各位多包涵。（あたりまえ）
- ③、现在大家再怎么议论也已经不顶用了。好歹明天就可以知道考试的成绩。（よかれあしかれ）
- ④、外语是个实践性很强的学问，必须多听、多写、多读、多译，才能切实地提高外语水平。只顾语法恐怕是不行的。（……点ばり）
- ⑤、这与他是合适的工作。她虽然能力不算强，但办事仔细，也很认真。（……に適する）
- ⑥、即使你是经理，你恐怕也是能那样吧。除此之外还有什么更好的选择呢？（仮に……としても）
- ⑦、这次口试他没有好好准备，对于先生的提问，他似懂非懂，只好连猜带蒙地回答，看来大部分都答错了。（あてずっぽうに）
- ⑧、大家对她的印象说起来算是好的。只是他平日很少说话，也不与大家来往，所以她与大家的关系不算亲密。（どちらかといえば）
- ⑨、他母亲是个著名的国画家，擅长画花鸟和山水。他从小耳濡目染，掌握了画画的本领。（みようみまね）
- ⑩、这东西的价钱贵还是不贵姑且不说，你就说喜欢还是不喜欢吧，怎么这么啰里啰唆的。（……別として）

三、作文 「私の家族と日本」（満点六十点）。

注意点：①文体は自由であること。②字数は八〇〇字以上、二〇〇〇字以内のこと。③、氏名、テーマ、改行などの空白は字数に含まれないこと。